

クライアント、社会、そして所員にとって、「かけがえのない存在」であり続ける事務所に 山下総合法律事務所



前列左より、山下聖志弁護士(55期)、塚原雅樹弁護士(61期)、巖逸文弁護士(中国弁護士)。
後列左より、五十嵐良平弁護士(70期)、小澤拓弁護士(65期)、立川献弁護士(67期)

2016年8月設立の山下総合法律事務所。設立者の山下聖志弁護士に、強みを聞いた。「対応業務の基本となる三本柱があります。一つめは契約法務株主総会対応、M&Aなど伝統的な企業法務。二つめはインバウンド・アウトバウンド両面の海外案件。三つめは金融商品取引法や先端分野がかかわる専門的業務です。海外案件は特に強化したい分野です」

らも新株と自己株を引き受け

「という、実はものすごく複雑な案件だったのです。個人投資家なのでデューデリジェンスこそ最小限度だったものの、日本初のスキームということで非常に苦労しました。しかし当然ながら、やりがいはいはひとしお。クライアント側の希望と当局側の要求と、連日深夜までギリギリのせめぎ合いでした。一人でよくやりきれたなど、思い出します」

その案件を山下弁護士に紹介してくれたのは、独立後の仕事を気にかけてくれていた先輩弁護士だった。独立した時、顧客はほとんどゼロ。事務所を軌道に乗せられたのは、そうした弁護士仲間や、かつてのクライア

ントのおかげだ。

「前事務所の後輩弁護士2名がそれぞれ転職してインハウスローヤーになっていました。私が独立してすぐ「山下先生、うちの顧問になってください」と声をかけてくれました。それは嬉しかったですね。また、かつてお手伝いしたクライアントが、私の新事務所をネットで探し出してくださった。過去のご縁一つひとつを大事につなげながら、業容を広げてくださいました」

先述のとおり弁護士仲間からも慕われる山下弁護士。独立を知り、「待ってました!」とばかりに入所してきた弁護士も、「独立から3年は一人で頑張ろう」と考えていた山下弁護士だが、設



懇親の場は、歓迎会・食事会のほかサプライズの誕生日会も。「各自、カラオケ、ボウリングなど好きなものにこだわりの(笑)。所員が増えてそんな部活ができていくのが楽しみです」(山下弁護士)。写真は山下弁護士の誕生日会。ケーキに「感謝状」が添えられる

立2年目から弁護士が増え始め、気付けば現在の陣容6名。「一人でTOBに奮闘していた頃は、これほど仲間が増えるとは想像もできませんでした」と笑う。そもそも山下弁護士が独立したのは、「若手弁護士に活躍の機会を提供し、彼らが自由にのびのびと働ける環境をつくりたい」という思いがあったから。「私は『天賦はそれぞれ違うもの』という信念を持っています。ですからそれを伸ばす助けになりたい。細かい法律に強い人がいる、紛争に強い人がいる、のびのび仕事ができる。そんな場をつくりたくて独立しました」

「基本的には報告をし、相談さえ欠かさなければ、自由に」というスタンスです。私の一挙手一投足を気にする弁護士は要りません。私のために働く事務所ではなく、自分と事務所のために働く意識でいてほしい。内側に気をとられず、クライアントに全力を集中し、一人前になってほしい。

「この仕事は、結局は人」と言い切る山下弁護士。「クライアント、社会、所員、当事務所にかかわる方々すべてにとって、かけがえのない事務所になりたい。我々の存在意義は、法律という道具を使って問題解決を図ること。少々口はばつたいたいですが、平和をつくるため、と私は思います。例えば勝ち目のない裁判でも、その方々が納得できる道筋をつくれるかが大事。弁護士の仕事の相手は、人の心です。当事務所にかかわる方々の心が最終的に平穏を得られるよう、その方の、荷物を肩代わりしたり、下ろして差し上げたりしながら、リーガルサポートを進めていきたい。そうして、この事務所の影響力、存在価値をより広げていきたいです」



仕切りを設けず、互いの顔が見えるようにデスクを配置。いつでもすぐに議論ができる。「IT翻訳機の導入など、弁護士の作業効率化を順次進めています。弁護士が本来成すべきことに集中し、彼らがきちんと休める環境整備をしていきたいです」(山下弁護士)

「成功も失敗も肌で感じられる」

「成功も失敗も肌で感じられる」



山下総合法律事務所
所在地/〒104-0031
東京都中央区京橋2-7-14
ビュレックス京橋7階
TEL/03-6268-9511
URL/http://www.y-lawoffice.com/
弁護士6名、秘書スタッフ4名。会社法・金融商品取引法、M&A、海外案件、Fintech法務、訴訟・紛争対応など。クライアントは上場企業を中心に、金融機関、国内中堅企業、新規ベンチャー企業など幅広い。

山下聖志弁護士/2002年、柳田野村法律事務所(現柳田国際法律事務所)入所。05~07年、大手証券会社法務部出向。10年、ミシガン大学ロースクールLL.M.課程修了。11年、米国ニューヨーク州弁護士登録。12年、パートナー就任。16年、山下総合法律事務所設立